

薬 第 8 3 8 - 3 号
平成30年11月28日

一般社団法人埼玉県病院薬剤師会会長 様

埼玉県保健医療部長 本多 麻夫
(公印省略)

アリロクマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインの一部
改正について（依頼）

保健医療行政の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
標記について、平成30年11月21日付け薬生薬審発1121第1号で厚生労働省
医薬・生活衛生局医薬品審査管理課長から別添（写し）のとおり通知がありました。
つきましては、貴会会員に周知くださいますようお願いいたします。
また、当該通知（写し）については薬務課ホームページに掲載しています。

記

(薬務課ホームページ)

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0707/yakkyokutoukankeitsuuti.html>

担 当：薬務課 総務・温泉・薬事相談担当
電 話：048-830-3624
F A X：048-830-4806

E-mail：a3620-08@pref.saitama.lg.jp



薬生薬審発 1121 第 1 号
平成 30 年 11 月 21 日

各 都道府県
保健所設置市
特別区 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課長
(公 印 省 略)

アリロクマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインの一部
改正について

経済財政運営と改革の基本方針 2016（平成 28 年 6 月 2 日閣議決定）において、革新的医薬品の使用の最適化推進を図ることが盛り込まれたことを受け、革新的医薬品を真に必要な患者に提供するために最適使用推進ガイドラインを作成しています。

このうち、アリロクマブ（遺伝子組換え）製剤を使用する際の留意事項については、「エボロクマブ（遺伝子組換え）製剤及びアリロクマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインについて」（平成 29 年 3 月 31 日付け薬生薬審発 0331 第 1 号厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課長通知）により示してきました。

今般、アリロクマブ（遺伝子組換え）製剤である「プラルエント皮下注 75 mg ペン」及び「プラルエント皮下注 150 mg ペン」の製造販売承認事項一部変更申請が承認されたことに伴い、アリロクマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドラインの一部を別紙の新旧対照表のとおり改正しましたので、貴管内の医療機関及び薬局に対する周知をお願いします。なお、改正後の最適使用推進ガイドラインの全文は、別添参考のとおりです。

